

製品名: U1A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84138**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000, ICC 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	31 kDa

抗原情報

遺伝子名	U1A
別名	Mud1; snRNP A; SNRPA; U1-A; U1A;;U1A
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P09012
免疫原	ヒト U1A 由来の合成ペプチド

背景

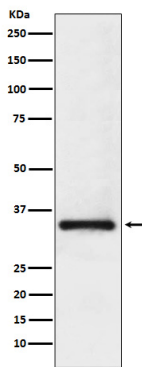
スプライソソーム U1 snRNP の構成要素であり、pre-mRNA の 5'スプライス部位の認識とそれに続くスプライソソームの組み立てに

必須です。U1 snRNP は pre-mRNA と相互作用する最初の snRNP です。この相互作用は、その後の U2 snRNP および U4/U6/U5 tri-snRNP の結合に必要です。SNRPA は U1 snRNA のステムループ II に結合します。snRNP を含まない形態 (SF-A) では、pre-mRNA のスプライシングとポリアデニル化の共役過程に関与している可能性があります。

研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の U1A 発現のウェスタン ブロット分析。